

2011年度

事業名

赤十字健康講演

1

No.	実施日	場所・会場	演題・内容	講師等	対象者	参加人数	主催者側人数	コメント
1	10月19日(水)	相馬市 はまなす館	「災害による心理的影響と こころのケア」	福島赤十字病院 精神科 神経科部長 菅野智行	相馬市民	60人	支部職員 3人 指導員 1人 相馬市地区 1人 赤十字奉仕団他 10人 合計 15人	

2012年度 事業名 赤十字健康講演

No.	実施日	場所・会場	演題・内容	講師等	対象者	参加人数	主催者側人数	コメント
1	5月19日(土)	伊達市 保原市民センター	①リラクゼーション (ハンドマッサージ) ②講演「低線量放射線の生体への 影響と食の重要性」	①ナリス化粧品(大阪市) ②(財)ルイ・パストゥール医学研究 センター 基礎研究部インターフェロン・ 生体防御研究室長 宇野賀津子	伊達市民	170人	支部職員 伊達市地区 伊達市保原町赤十字奉仕団 婦人会 ボランティア 合計 5人 3人 15人 5人 4人 32人	支部で計画をした放射線に関する講演は、とても良い評判をいただいています。今のところ、座席数の8割程度の参加人数を確保できていますが、広い会場では広報の方法に工夫が必要と思われます。
2	6月23日(土)	南相馬市 原町区福祉会館	①リラクゼーション (ハンドマッサージ) ②講演「低線量放射線の生体への 影響と食の重要性」	①岡山県支部参事 江里美代子 岡山県支部指導員 綾野美亀江 ②(財)ルイ・パストゥール医学研究 センター 基礎研究部インターフェロン・ 生体防御研究室長 宇野賀津子	南相馬市民	92人	支部職員 岡山県支部 南相馬市原町赤十字奉仕団 南相馬市鹿島赤十字奉仕団 合計 5人 2人 8人 5人 20人	
3	7月9日(月)	郡山市 湖南行政センター	糖尿病の予防と治療	福島赤十字病院 糖尿病代謝科部長 佐藤義憲	郡山市 湖南町住民	57人	支部職員 郡山市湖南分区 民生児童委員協議会 合計 3人 2人 2人 7人	
4	7月21日(土)	相馬市 はまなす館	①リラクゼーション (ハンドマッサージ) ②講演「低線量放射線の生体への 影響と食の重要性」	①ナリス化粧品(大阪市) ②(財)ルイ・パストゥール医学研究 センター 基礎研究部インターフェロン・ 生体防御研究室長 宇野賀津子	相馬市民	79人	支部職員 相馬市地区 相馬市赤十字奉仕団 ボランティア 合計 4人 2人 5人 4人 15人	
5	9月30日(日)	いわき市 産業創造館(LATOV)	①リラクゼーション (ハンドマッサージ) ②講演「低線量放射線の生体への 影響と食の重要性」	①福島県支部指導員 鈴木祐子 ②(財)ルイ・パストゥール医学研究 センター 基礎研究部インターフェロン・ 生体防御研究室長 宇野賀津子	いわき市民	68人	支部職員 いわき市地区 いわき市好間方赤十字奉仕団 東北共同乳業 合計 6人 1人 14人 3人 24人	
6	10月21日(日)	会津若松市 会津若松ワシントン ホテル	①リラクゼーション (ハンドマッサージ) ②講演「低線量放射線の生体への 影響と食の重要性」	① 福島県支部指導員 鈴木祐子 ②(財)ルイ・パストゥール医学研究 センター 基礎研究部インターフェロン・ 生体防御研究室長 宇野賀津子	会津若松市民	52人	支部職員 会津若松市地区 会津若松市赤十字女子奉仕団 合計 5人 2人 15人 22人	
7	12月22日(土)	福島市 バルセいいざか	①リラクゼーション (ハンドマッサージ) ②講演「低線量放射線の生体への 影響と食の重要性」	①福島県支部参事 武田玲子 ②(財)ルイ・パストゥール医学研究 センター 基礎研究部インターフェロン・ 生体防御研究室長 宇野賀津子	福島市民 伊達市民	30人	支部職員 福島市飯坂赤十字奉仕団 合計 4人 10人 14人	

2013年度

事業名

赤十字健康講演

No.	実施日	場所・会場	演題・内容等	講師等	対象者	参加人数	主催者側人数	コメント
1	6月4日(火)	伊達市 保原市民センター	「知っておきたい認知症のお話」	福島赤十字病院 精神科・神経科部長 菅野智行	伊達市民	169人	支部職員 伊達市地区 伊達市保原町赤十字奉仕団 合計	3人 2人 12人 17人 会場も満席となって、講師に熱心に質問をする参加者もありました。病気の予防と健康増進に寄与するという本事業の目的を達成できたものと思われま。また当支部作製のDVDの上演により、当支部の復興支援事業についてのPRもできました。
2	9月18日(水)	鮫川村 公民館	「糖尿病を予防しましょう」	福島赤十字病院 糖尿病代謝科部長 佐藤義憲	鮫川村民	83人	支部職員 鮫川村分区(村長) 鮫川村赤十字奉仕団 合計	4人 1人 4人 9人 村外からの参加者もあり、病気の予防と健康増進に寄与するという本事業の目的を達成できたものと思われま。
3	3月2日(日)	福島市 コラッセ福島	第1部 幼児安全法講習 「子どもの事故を防ぐために。 事故がおこったら・・・」 第2部 ①「低線量放射線を超えて」 健康で安心して生きていく ために ②リラクゼーション (ハンドマッサージ)	第1部 福島県支部 参事 武田玲子 幼児安全法指導員 1名 救急法指導員 5名 第2部 ①(財)ルイ・パストゥール医学研究 センター 基礎研究部インターフェロン・ 生体防御研究室長 宇野賀津子 ②ナリス化粧品(大阪市)	福島市民	第1部 19人 第2部 61人	支部職員 指導員 福島市北信赤十字奉仕団 ボランティア 合計	7人 6人 3人 4人 20人 参加者から、「放射線の被害を心配するより、野菜を食べて、ストレスを少なくする生活を心がけた方が良いことがわかった」との声がありました。放射線への不安を軽減し、健康づくりに寄与するという本事業の目的を達成できたものと思われま。